

令和2年度 長崎県立佐世保工業高等学校 学校評価 アンケート

本校の教育方針	本校の教育基本法並びに学校教育法長崎県教育方針に基づき、地域社会・家庭の協力を得ながら、本校教育の充実と発展に努めるため、教育目的を以下のように定める。
	① 命の尊さや、個人の尊厳を重んじ、自然と平和を大切にする態度を養う。
	② 正義と責任、協調の精神及び公共の精神を養う。
	③ 学力の充実とともに品格を高め、自主自立の精神を養う。
④ 勤労を重んじ、工業技術の発展に寄与できるとともに、工業立国を担う実践的な工業人の育成に努める。	
本年度努力目標	〈 One More Step 〉 ～ 心・技・体の向上 ～
具体的取り組み	<input type="radio"/> 気力向上(心) ・ 忍耐力の育成 ・ 思いやる心の育成 ・ 自己肯定感の育成 <input type="radio"/> 学力向上(技) ・ 基礎学力の定着と向上 ・ 横断的に考えることの習慣化 ・ 資格取得の推進 <input type="radio"/> 体力向上(体) ・ 部活動の充実 ・ 健康で強靱な体づくり ・ 安全教育の徹底

※ 先生の説明に従い、下記の[]の4～1を参考に、「評価」の欄の該当する数字に○を記入してください。

[4 : よくあてはまる 3 : ややあてはまる 2 : あまりあてはまらない 1 : まったくあてはまらない]

項目	内 容	職員	生徒	保護者
(1) 教育活動	1 わかりやすい授業を行い、適切に指導している。	3.3	3.1	3.2
	2 生徒に対して、学習内容や成績評価について十分に説明している。	3.4	3.4	/
	3 生徒の悩みや相談に親身に対応している。	3.4	3.3	3.2
	4 生徒が良い事や努力をした時には褒めている。	3.5	3.3	3.2
	5 生徒の人権を尊重し、真剣に対応している。	3.5	3.3	3.2
	6 学年に応じた主権者教育を行っている。	2.9	3.3	3.1
	7 節水・節電・ゴミの分別など、省エネ、環境保全について指導している。	3.4	3.3	3.2
	8 教育活動を通して、「5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）」を指導している。	3.4	3.5	/
	9 普通科と工業科が連携した進路指導を行っている。	3.1	/	/
	10 行事の企画運営において、職員間の意志疎通や連絡・相談が十分にできている。	3.0	/	/
(2) 教育環境	11 学校は、清掃が行き届き、いつもきれいである。	3.1	3.1	3.3
	12 学校は、危険箇所などへの配慮がなされ安全である。	3.2	3.4	3.3
(3) 開かれた学校	13 ホームページやメールメイト等で学校の情報を適切に発信している。	3.3	3.4	3.3
	14 学校からの配布物を保護者に見せるよう指導している。	3.5	3.5	3.2
	15 保護者が積極的に活動ができるようなPTA活動を行っている。	3.2	/	3.2
(4) 学校生活	16 生徒が学級活動や学校行事に積極的に参加する環境づくりができている。	3.3	3.4	3.3
	17 生徒が部活動に意欲的に取り組む環境づくりができている。	3.3	3.4	3.3
	18 生徒が将来の目標を定め、積極的に学校生活を送れる環境づくりができている。	3.2	3.5	3.4
(5) 教育環境	19 スマートフォン等の使用について、誤った使い方をしないよう指導している。	3.5	3.4	3.3
	20 バスや鉄道の乗車に関する事等の、公共マナーについて指導している。	3.6	3.7	3.4

令和2年度 学校関係者評価

<p>学校関係者 (学校評議員を兼ねる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元企業代表取締役 ・ 地区自治協議会理事 ・ 高等専門学校教授 ・ 定時制元PTA会長 ・ 全日制前PTA副会長
<p>学校関係者からの 意見・助言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の制約がある中で、対策を取りながら成果を上げている。 ・ 配慮が必要だったり、心のケアが必要だったりする生徒が増えてきているのではないかと。 ・ 定時制の学校評価において、悩みや不安の対応に関して生徒が高い評価をしていることが素晴らしい。生徒と教員の関係性のよさの現れである。 ・ 以前より学校ホームページに力を入れているようだが、中学生の進路決定の参考になるような情報をもっと多く掲載したほうがよい。 ・ 働きながら学ぶ定時制の生徒の教育をよろしくお願ひしたい。
<p>対 応 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の感染防止対策を取りながら、学校行事・各種取組についてどのような工夫をすれば実施することができるかを考えて、教育活動が停滞しないようにしたい。 ・ 全日制は年度後半より、SCに定期的に来校してもらえる体制を取った。次年度も制度を活用して生徒・保護者のカウンセリングを実施するとともに、本校職員への助言もお願ひする。定時制はSSWを活用している。 ・ 学校ホームページは、行事をはじめ学校生活における生徒の活動の様子が伝わるような工夫を心掛ける。